

2 富士山からの挑戦状

「富士山の日」に向けて、富士山の自然、生きもの、登山、文化などについて幅広く学べる小学生向け学習リーフレット「富士山からの挑戦状」の新版を作成しました。

今年度版から、解説の順序を富士山の地質、生物、気象、登山、マナー、文化とし、富士山全体の構造から読者にとって身近な話題に移行していく構成に変更しました。

また、富士山に棲む動物や、外来植物問題について新たに掲載しました。

作成には、マックスバリュ東海株式会社様及びハーゲンダッツ ジャパン株式会社様からの寄附金を活用させていただきました。

Q.5
の答えは

富士山の動物

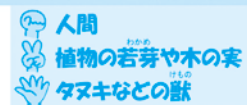
厳しい環境の富士山にたくさんの動物がいるよ。哺乳類では37種も確認されていて、洞窟に暮らすコウモリやネズミの種類の多いのが特徴かな。大きな動物ではツキノワグマやカモシカ、シカ、イノシシなどがある。身近な里山でも見られるタヌキやキツネ、アナグマ、イタチ、ウサギの他に、富士山にはイタチの仲間肉食のテンやオコジョもある。この中で目立って数が多いのが、断然シカ。次によく見られるのは、雑食のアナグマやタヌキ。アナグマが多かったのは意外だったよ。

ところで、カエルが繁殖するために水溜りが必要なのは知っているよね。標高1,000m以上の富士山には川や池がないのに、2,000mほどの森でカエルが普通に見られるのは不思議だ。調べたら、モ



9

Q.6 富士山に暮らすクマの好物は何？



リアオガエルは、国有林に作られた防火水槽に産卵していたよ。森の中でムカデやミズなどの土壌生物を食べているアズマヒキガエルやヤマアカガエルは、雪解けの水が一時的にたまる溶岩のくぼ地で、春に産卵していた。たくましいね。

富士山に動物たちが暮らせるのは発達した森のおかげだけど、実は森の樹木には動物の力を借りて分布を広げるものもあるんだ。例えば、リスやネズミが冬越しのためにエサのドングリをまとめて土に埋めて（貯食）置き、残った種子が春に発芽する。鳥のカケスやホシガラスはさらに遠くまで種子を運んでくれる。約300年前の宝永山の噴火で荒地となった場所に、ブナやミズナラなどの樹木が見られるのは、この鳥たちの働きだろうね。



10

大人の方にも「わかりやすい」と大好評です！

「富士山からの挑戦状」には予備がありますので、必要な方は、ふじさんネットワーク事務局までご連絡ください。また、ふじさんネットワークのホームページでもすべてのページを見ることができます。

【ホームページ】<http://www.fujisan-net.gr.jp/topics/2017-01panf.pdf>
 【電話】054-221-2963 【Eメール】3776fujii@pref.shizuoka.jp